

# IT経営百選 選考基準と評価のポイント

平成18年3月

IT経営応援隊 IT経営百選選考委員会

# 選出の条件

## 中小企業基本法における中小企業に該当すること

業種分類	中小企業基本法の定義
製造業、建設業、運輸業その他の業種(下記業種を除く)	資本金3億円以下 又は 常時使用する従業員数300人以下
卸売業	資本金1億円以下 又は 常時使用する従業員数100人以下
小売業	資本金5千万円以下 又は 常時使用する従業員数50人以下
サービス業	資本金5千万円以下 又は 常時使用する従業員数100人以下

※中小企業金融公庫法等の中小企業関連立法においては、政令によりゴム製品製造業(一部を除く)は、資本金3億円以下または従業員900人以下、旅館業は、資本金5千万円以下または従業員200人以下、ソフトウェア業・情報処理サービス業は、資本金3億円以下または従業員300人以下を中小企業としています。

※上記の業種分類は日本標準産業分類第10回改訂分類に基づきます。

# フェースシートに盛り込む要件

- 会社概要
  - － 会社名、本社所在地、電話番号、URL、設立年月日、資本金、上場の有無(店頭/2部)、業種・業態
  - － 代表者(名前、年齢)、情報戦略責任者(名前、役職、年齢)
- 業績
  - － 過去3年間の業績の推移(売上高、経常利益)
  - － 過去3年間の従業員数の推移(うち社員数)
- IT部門
  - － 人数(うち社員数)、組織名称、責任者名(役職)、過去3年間の年間IT費用
- 事業内容
  - － 事業・商品・サービス内容
  - － ビジネスの特徴(強み、付加価値、こだわり、独自性、など)

# 「IT経営百選」選考のポイント

「ビジネス戦略・経営革新」、及び「IT高度活用」の二つの視点から評価を実施

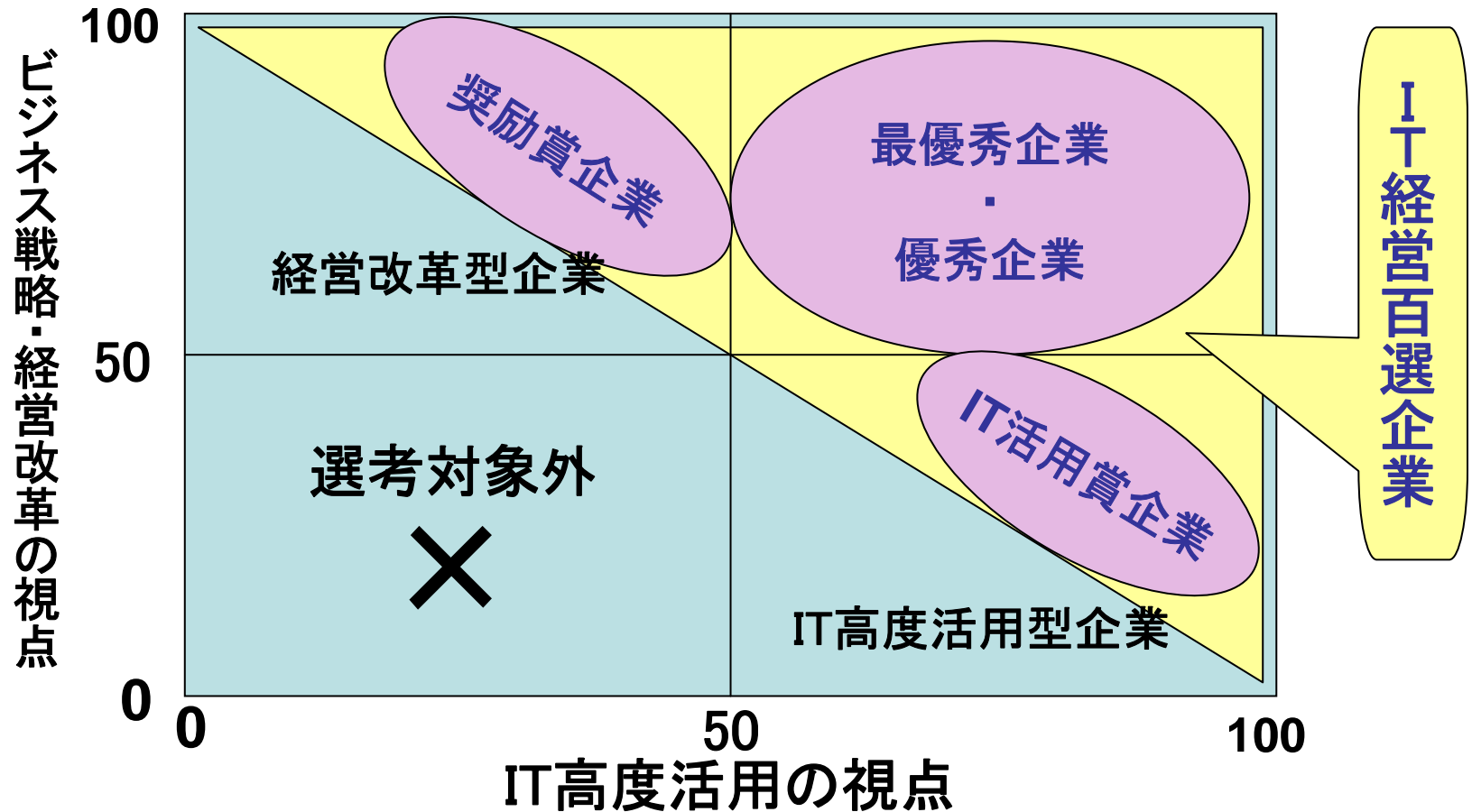
- **ビジネス戦略・経営改革の視点(各20点)**

- ①業績が好調に推移しているか
- ②大手にはマネができないビジネスモデルを実現しているか
- ③経営の自立化が出来ているか
- ④経営のオープン化を実現しているか
- ⑤満足度経営を実践しているか

- **IT高度活用の視点(各20点)**

- ①コミュニケーション高度化への活用
- ②営業・マーケティング改革・新商品や新サービス開発への活用
- ③業務プロセスの高度化・統合化への活用
- ④人材・ノウハウの高度活用や高度な経営管理への活用
- ⑤高度な情報セキュリティ対策

# ノミネート基準 50点以上を選出対象



1. ビジネス戦略・経営改革の視点でのみ優れた企業(第2象限)又は、IT高度活用の視点でのみ優れた企業(第4象限)でも応募歓迎です。
2. 横軸・縦軸とも100点(満点)は21世紀における企業の理想像です。

# 各項目の採点基準(20点満点)

- 20点～19点・・・当該業界に於いて世界的に誇れるレベルの成果
- 18点～16点・・・当該業界に於いて日本に誇れるレベルの成果
- 15点～13点・・・同業他社の参考となる成果が出ている
- 12点～11点・・・同業他社が気になる成果が生まれている
- 10点～6点・・・当該項目に関して実践しており、一息ついた
- 5点～1点・・・当該項目に関して着手した段階で、まだまだこれから
- 0点・・・・・・・・・・当該項目に関して全く実践していない

# 自己評価の仕方について

IT経営百選選考委員会ではP4の選考のポイントに従って審査をして、優秀企業を選ぶことにしております。なお、総合点で高いことに越したことはありませんが、経営改革・ビジネス戦略の視点で特徴があり優れた企業又はIT高度活用の視点で特徴があり優れた企業も応募を歓迎していますので、総合点には拘らず、応募下さい。

なお、本資料に挙げられた基準は21世紀におけるIT経営としての高い目標を想定したものですので、現状を過大評価にならないよう自己評価をして下さい。総合評価100点程度(満点は200点)の企業を一応の目安として募集します。

## ビジネス戦略・経営改革の視点

# ①業績が好調に推移しているか

- 高い利益(実質的に)が継続して出ている
- 売上高増が連続して達成されている
- 付加価値が高い
  - 高い利益率を誇り、給与水準も高い

## ビジネス戦略・経営改革の視点

### ②大手にはマネができないビジネスを構築している

- 少量でも付加価値が高い商品・サービス提供
- こだわりを貫いている
- 独創的なビジネスを築いている
- 高い技術で品質、サービスを提供
- コスト、スピード、顧客満足などで優位に立つ

## ビジネス戦略・経営改革の視点

# ③経営の自立化が出来ているか

- 下請けから脱却している
- 市場を直接開拓している
- 特定の顧客への依存度を下げている(例えば10%以下)
- 提案型のビジネスを展開している

# ビジネス戦略・経営改革の視点

## ④経営のオープン化

- 業績情報をオープンにし組織改革している
  - 経営状況をリアルタイムにつかんでいる
  - 経営実態を素早く詳細に社外に公開している
  - 責任と権限を現場に委譲、組織改革でコスト削減を図るとともに機動力を向上させている
- 取引条件をオープンにしている
  - 発注や納期、仕入れ値や売値などの取引条件、仕事の遂行に必要な一切の情報を共有している
- 社内に対する情報の共有化・同時化を図っている
  - 伝票の一枚一枚、経費の詳細まで社内公開している
  - 組織、個人ごとの業績が把握され共有されている

## ビジネス戦略・経営改革の視点

# ⑤満足度経営を実践しているか

- 顧客満足度(CS)を「個客」レベルまで具体的に実践して追及している
- 従業員満足度(ES)を高めることを具体的に実践し、やる気創造を図っている
- ビジネスパートナーからの満足度を得る(PS)ためにWin-Winの取引関係を築いている
- 環境問題など社会からの満足度を得る(SS)ための十分な活動をしている

## IT高度活用の視点

# ①コミュニケーション高度化への活用

- PCやモバイルなどを駆使して、組織の全員が報告・連絡・相談に電子ネットワークを縦横無尽に活用している
- 電子メール、グループウェア、ワークフローなどによりペーパーレス化を図り情報共有を徹底している
- テレビ会議やWeb、ボイスメール、Weblog(ブログ)、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)など用いて社内だけでなく顧客や取引先と迅速で豊かなコミュニケーションを図っている
- 電話、インターネット、FAXなど各チャネルからのメッセージの統合化を図っている
- 社外情報・社内情報を効率よく迅速に活用するために企業ポータル(EIP)を構築して日々活用している

## IT高度活用の視点

### ②営業・マーケティング改革・新商品や新サービス開発への活用

- インターネットやコンタクトセンターなどITを活用して顧客や取引先との新規チャネルを構築し売上の柱を確立、新規顧客やリピート顧客獲得を劇的に改革している
- 顧客(個客別)との取引の状況や折衝情報などの情報をデータベースに一元化、社内で共有を図り、営業戦略・マーケティング戦略に活用している
- 新商品・新サービスの開発に関して、市場の声を聞く、開発相手とのコラボレーションを行う、などにITを戦略的に活用している

## IT高度活用の視点

### ③業務プロセスの高度化・統合化への活用

- 3次元CAD(コンピュータによる設計支援)やCAE(コンピュータによるエンジニアリング支援)などITを活用して業務プロセスを革新している
- 企業外にも及ぶビジネスプロセスに関わる業務のつながりを連携させるためにITを活用している
- ビジネス全体の状況を詳細に素早く把握できるようにITを活用している

## IT高度活用の視点

### ④人材・ノウハウの高度活用、高度な経営管理

- 個人の業務実績や業務成果、教育・研修履歴などをITを活用して把握し、情報を社内に公開し有効活用している
- ITを活用し、業務評価の基準を明確にして社内公開し、短い間隔で多様な方向から個人評価を行い、その結果を本人や社内にフィードバックしている
- 個人や組織が持っている仕事に関わるノウハウやナレッジをデータベースに蓄積して業務に有効活用している
- 組織や個人のモチベーションの状態をITを活用して継続的に把握してプロジェクト編成や人事異動に反映、やる気を高めている
- 経営状況を詳細かつリアルタイムに把握・情報共有したり即日決算を実施するなどしてそのデータを十分に分析、ビジネス活動や戦略策定に素早く反映している

# IT高度活用の視点

## ⑤情報セキュリティ対策

- 総合的な視点でバランスよく対策を高いレベルで実施している
  - 不正侵入防止策(侵入経路などの洗い出しと侵入防止策、会社やサーバールームの入退室管理など)
  - コンピュータウィルス対策(ウィルス対策ソフトの導入/ 運用の徹底/ 外部の専門業者との対策サービス契約/ 感染時の連絡や復旧体制のマニュアル化など)
  - 情報漏えい防止策(機密情報のアクセス管理と利用状況監査/ 社外への持ち出しのルール化/ 盗聴など社外からの脅威の対策など)
  - 障害対策(バックアップなど情報消失の防止/ 障害発生時の臨時の業務処理策の整備など)
  - 社員教育(仕事における情報利用のモラル向上/ 社内規定などによる情報利用のルール化など)
- 公的なセキュリティ認証制度であるISMSやプライバシーマークなどを取得している